

## 聖書の窓

## 今月の聖句

「家に入つてみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。」  
(マタイによる福音書2章11節)



広島女学院大学宗教委員長  
人文学部・人間生活学部  
共通教育部門 教授  
広島YMCAチャプレン  
澤村 雅史

~~~~~

最近私は時折、日本福音ルーテル広島教会で行われている「るうてる食堂クレヨン」(毎月第2・4火曜日16:00～19:00)にボランティアとして参加させていただいている。いわゆる子ども食堂の取り組みですが、「るうてる食堂クレヨン」では子どもだけではなく、どんな人でも歓迎!の「誰でも食堂」と位置づけているといいます。子どもも、親も、お年寄りも、家族でも、一人でも、誰でも気軽に来ることのできる場所を目指し、地域コミュニティの再創造につなげようというのです。最初は学生ボランティアの引率という役割のためだった私ですが、いつの間にか誰よりも楽しみに参加するようになりました。たくさんの笑顔に出会うことで自分もまた、この「誰でも食堂」に歓迎されていると感じるからです。

今回の聖句は、東方からやってきた学者たちが、生まれたばかりのイエスさまに出会い、贈り物を献げた場面です。彼らは険しい道のりを遠く旅して、ようやくたどりついたベツレヘムで、イエスさまにプレゼント

を差し上げたのですが、むしろ自分たちのほうが何か大きなものを受け取ったような喜びにあふれたようです。なすべきことをなし終え、出会うべき相手に出会うことができたからです。

クリスマスの季節、献げること・与えること・分かち合うことを通して、あなたもこの喜びを体験してみませんか?



## ウクライナ避難者緊急支援 日本語教室レポート

広島YMCAでは、ウクライナから避難してきた方々が、日本の生活に慣れ、日常の生活に支障が出ないようにするために広島YMCA専門学校日本語コースにおいて、日本語のプライベートレッスンを行ってきました。

第1期は7月5日～8月25日で全12回を2名の避難者の方に、第2期は9月21日～10月31日で全11回を4名の方に実施しました。

このレッスンを通して日常会話に関しては、ある程度の基本的な会話ができるようになりました。今後、広島で就労ができるように、働くための日本語と就業トレーニングをセットにしたサポート講座を開講していく予定です。

この支援のための経費は、皆様からご協力いただいたウクライナ緊急支援募金によって運営されており、11月からの国際協力募金もウクライナ避難者支援に活用される予定ですので、ぜひご協力をお願いします。

広島YMCA専門学校 末田 朝子



## 広島YMCAネットワーク

## 【学校法人】

- ◎広島YMCA  
〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11 ..... TEL 082-228-2266
- ◎東広島YMCA  
〒739-0043 東広島市西条西本町28-6 サンスクエア東広島4F TEL 082-423-1717
- ◎YMCA米子医療福祉専門学校  
〒683-0825 米子市錦海町3丁目3-2 ..... TEL 0859-35-3181
- ◎岩国YMCA国際医療福祉専門学校  
〒740-0018 岩国市麻里布町2-6-25 ..... TEL 0827-29-2233
- ◎雲月山キャンプ村  
〒731-2311 山県郡北広島町土橋 ..... TEL 0826-35-0384

## 【社会福祉法人】

- ◎広島YMCA福祉会  
〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11 ..... TEL 082-227-2884
- ◎広島友愛福祉会  
〒739-0651 大竹市玖波4丁目8-8 ..... TEL 0827-57-7500
- 【株式会社】  
◎ユースサービス  
〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11 ..... TEL 082-222-9500
- 【公益財団法人】  
◎広島YMCA国際コミュニティーセンター  
〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11 ..... TEL 082-228-1151

## 広島YMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

No.279 2022

# YMCA News

12

2022年12月13日発行  
1947年10月27日発行  
公益財団法人広島YMCA  
〒730-8523  
広島市中区八丁堀7-11  
Tel 082-228-1151  
Fax 082-211-0366  
<https://www.hymcagcc.org/>  
発行人/竹井 幸義  
編集人/広島YMCA GCC  
印刷/(有)アクト企画



## 2022年度の国際協力募金にご協力お願いします。

今年も恒例の広島YMCA国際協力募金活動がスタートしました。この募金は、日本全国のYMCAで力を合わせて、終息が見えないウクライナ支援、パキスタンで起こった大規模な水害支援など、緊急性のある支援にも使われますが、過去に大規模災害が起った場所にも復興支援として継続的に使われています。また、紛争や飢餓などにより、食料や水、医療が乏しい国の子どもたちの命を救うためにも使われています。広島YMCA独自の活動として平和に関する国際交流活動、ユース育成活動、国内外の災害復興支援にも使われます。年末の慌ただしい中ですが“今、わたしたちにできること”を考え、ぜひ国際協力募金にご協力ください。

公益財団法人広島YMCA理事長 竹井 幸義

## 防災プログラムの経験で作った新聞が 中国新聞「第22回みんなの新聞コンクール」で広島県教育委員会賞を受賞。

この度、広島YMCAコミュニティセンター主催の『防災プログラム』に参加した山本凜さん（広島大学付属小学校5年）が、中国新聞第22回みんなの新聞コンクール広島県教育委員会賞を受賞されました。

このプログラムは、7月30日（土）～31日（日）の一泊二日で広島YMCAの本館5階体育館にて行われました。

4年前の豪雨災害は記憶の新しいところですが、毎年のように大雨の被害がでています。自助・共助を広く子どもたちに伝えるために、このたび新しく企画いたしました。

今回は第一回目として、避難時の「持ち物リスト」の作成・段ボールベットの設営体験・非常食の試食体験・キッズ防災士講習を行いました。

「持ち物リスト」作成では、1日～3日の避難を想定し、子どもたちには避難時の荷物を30Lの大きさのデイザックで準備し、持って来てもらいました。それそれが持ってきたものを確認しながら、なぜそれがいるのか？実際に避難をするときには持ち物リストに加えた方が良いものは何か？などを全員でシェアしました。また、自分の食料は持ってきてているが、必要な食料の量なのか、温めないと食べられないものなど、ただ揃えるだけではない発見がありました。他のメンバーの持ち物を確認して、それぞれの子どもたちに新たな気づきがあったと思います。

段ボールベッド体験は、2グループに分かれて作ってもらいましたが、グループで協力してとても上手にできていました。子どもたちだけでも30分程度で作ることができました。出来上がったベッドは想像よりも大きかったようで、「ここで寝たい！」という声もあがり、避難所で使用されるものが使う人にとって使ってみたいと思えることは、大切なことと感じさせられました。実際にスタッフが就寝時に使用しましたが、一段上がっていきますので、高齢の方も利用しやすく、まったく問題ありませんでした。



2日目の活動は、非常食体験！今日は株式会社サタケ様が活動に賛同してくださり、非常食を無償で提供していただきました。お湯で15分、水では1時間で食べることができます。子どもたちは、水の量でピラフカリゾットかを選び食べてみました。持ち物リストでの気づきがあったように、実際に避難をした際には、限りある中で飲料としての水と食事としての水を用意することに気づけたと思います。

キッズ防災士講習では、ひろしま防災減災支援協会の防災士小松様から、自宅周辺のハザードマップの見方を教えていただき、ひろしまマイ・タイムライン作成を行いました。引率したスタッフでさえ知らないことばかりで、防災という言葉ではなく知識として身に付ける必要があると感じました。今回参加した7名のメンバーは、キッズ防災士として認定されました。参加した子たちから友だちへ、保護者へ、地域へ防災の芽が育っていくことを願っています。

この活動は広島YMCAとして、地域の方に向けた活動になります。初めての防災プログラムに、このたび賛同してくださったひろしま防災減災支援協会の小松様、株式会社サタケ様、参加してくれたメンバー7名とその保護者の方、そして約2カ月という短い期間での準備に協力してくれたスタッフの方に感謝し、今回の活動をスタートとし、広島YMCAとして防災を伝えていきたいです。2回目以降も、ぜひYMCAスタッフをはじめその家族の方にも参加していただき、自助・共助ができる人を増やしていければと思います。

ウエルネススポーツセンター 野々上 隆之

### 国際協力募金のお知らせ

#### ◆募金強化キャンペーン期間

2022年11月1日～2023年2月28日

#### ◆YMCA募金の全国的な使途

- 1.世界の若者をつなぐ平和国際交流
- 2.国内外で起こる災害による復興支援
- 3.世界の課題に取り組むユース支援
- 4.ウクライナ避難者への緊急支援

#### ◆募金目標額

1,200,000円

#### 【振込による募金支援】

銀行：みみじ銀行 広島中央支店 普通1029422

名義：公益財団法人 広島YMCA 国際協力募金

ザイ) ヒロシマワイエムシーエイ コクサイキヨウリヨクボキン

※振込手数料は免除されます。

※寄附金領収書をご希望の方は、下記までご連絡をお願いいたします。

その際、氏名・住所・電話番号等をお知らせください。

電話：082-228-1151 公益財団法人広島YMCA 担当：木坂・長光

## 全国YMCAリーダー研修会報告「私たちが伝えたいこと」

第53回全国YMCAリーダー研修会（2022年度）が、熊本YMCA阿蘇キャンプ場で開催されました。講師に社会学者の宮台真司氏をお招きし「私たちが生きる社会について」をテーマに二泊三日のトレーニングが行われました。全国のYMCAで活動するユースリーダー約80名が阿蘇に集まり、充実した学びの場を過ごすことができました。

国際コミュニティセンター 中奥 岳生

## 第53回全国YMCAリーダー研修会に参加して

私が今回のYMCAリーダー研修に参加したいと思ったきっかけは、以前ZOOMで熊本のリーダーたちと少し話させていただいた際に、今まで他県のリーダーたちと話すのは勿論、どんな活動をしているのかさえも知らなかった他県のリーダーたちの活動に対しての熱量に圧倒され、もっとたくさん話したいと思いました。そして全国にはどんなリーダーたちが居てそれぞれの活動に対してどんな思いを持っているのか一度会って知りたいと思い参加させていただきました。

実際に参加してみて思ったことは、自分が思っている以上に他県のリーダーたちの熱量が凄く、活動に対する姿勢がまっすぐでそれが自分の所属しているYMCAの活動に誇りをもって活動していることが感じられました。目標や理想を明確に持っていてそれを形にしていくうつthinkingしているリーダーたちが沢山いました。活動の内容はそれぞれ違えど、リーダーたちと話をしていると私たちには仲間が沢山いるんだなと実感しました。そして私たちを見守ってくれている大人たちがこんなにもいるんだなと思いました。私たちの挑戦を近くで見守ってくれて、挑戦の機会をくれるYMCAという場所の存在、そんな恵まれた場所に今自分がいることを改めて実感することが出来ました。それは今回参加しないと気づかなかつことかもしれません。その出来事が私自身、今回の研修会で一番忘れない経験です。

宮台さんと坂田さんのお話もすごく学びになるお話ばかりで、自分の知らない世界、価値観に触れることが出来た講演会でした。これから活動していく中で何かにつまずいたとき、きっとわたしはお二人の言葉やお話を思い出してヒントにしていくんだろうなと思いました。そんな貴重な講演会で、貴重な時間でした。

ユースリーダー 石田 弥生



5年間の活動の評価  
今後の課題を全国的に考える大会



## 広島YMCAホームページリニューアルのお知らせ

広島YMCA創立75周年の2013年に改訂され、2017年のプランディングの際、若干の修正がされた広島YMCA総合ホームページですが、当初の立ち上げから9年の時間が経過しましたので、2023年の85周年に向けて、大幅なリニューアルを行いました。それまで公益財団法人のホームページも単独で運営されておりましたが、この度の改定で、全体のホームページの中に組み込まれ、さらに充実した内容となりました。ぜひご覧ください。

<https://www.hymca.jp/> (URLの変更はありません。)

広島YMCA総合ホームページ

公益財団法人ホームページTOP